

# QCサークル活性化のガイドブック

中部品質管理協会  
中部品質管理推進研究会  
QCサークル活性化WG

初版 2015年 8月 5日

# 目次

1. はじめに	P1
2. アンケートを用いサークルの実態を調べる	P2
3. アンケートの結果を評価	P2～3
4. アンケート結果の評価に基づく事例集活用	P3
5. QCサークル活性化の参考事例	P4～15
6. おわりに	P16
「QCサークル活性化度調査アンケート」	別紙1
「研究会活動報告資料」	別紙2

# 1. はじめに

## ◇目的

「あなたの会社のQCサークルは活性化していますか？」と聞かれたらどう答えますか。

なかなか答えにくいではありませんか。あなたが本ガイドブックを使えば、上記の質問に対する答えを出すことができます。

本ガイドブックには私たちQCサークル活性化WGメンバーが、考える活性化を図るツールや実際に自社で実施している事例、改善のための事例を記載するなど、初めてサークルリーダーを担当する方だけでなく、リーダー経験が豊富な方にも役立つ工夫を盛り込みましたので、QCサークル活性化にご活用ください。

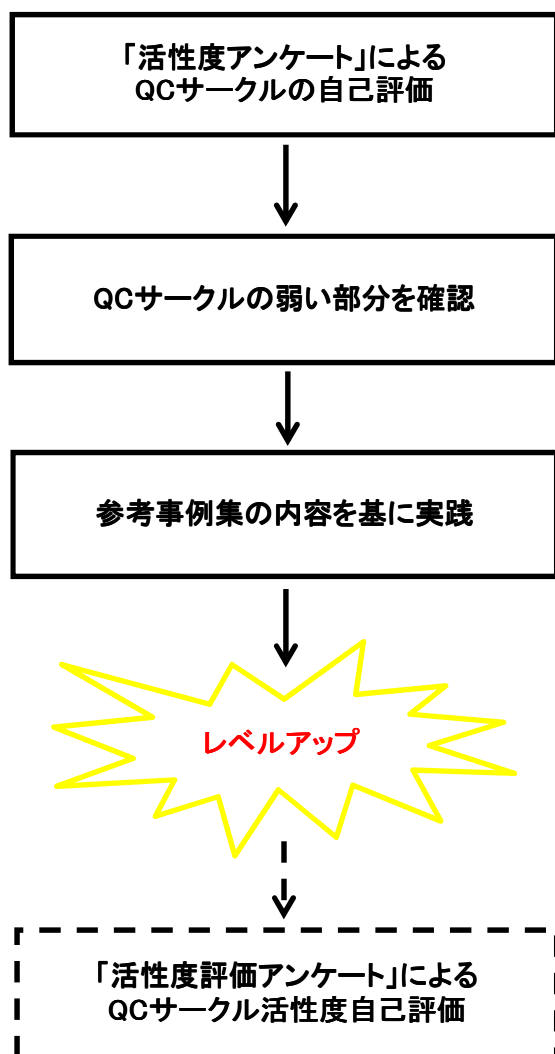
## ◇活性化の定義

サークルメンバーがトップの想いを理解し、実現に向けて主体的に取り組んでいる状態

## ◇活用方法

QCサークルリーダーとして、自サークルの活動を活性化させるための各場面で、メンバーのモチベーション向上や活動の理解を深めてもらうなど、実務に役立てていただくための参考書としてご活用ください。

### 【本ガイドブックの活用の流れ】



# サークルの活性化をはかってみましょう

## 2. アンケートを用いサークルの実態を調べる

- ・ サークルリーダーが目的・主旨を理解し、本音で記入する。  
また、必要に応じてメンバーに対しても、記入して貰う。無記名で行うのもいいでしょう。
- ・ 別紙「QCサークル活性化度調査アンケート」使用

### 【アンケート例】

## QCサークル活性化度調査アンケート

### 1. サークルリーダーの質問

#### (a) 部署長・工場長の想いを理解

##### ① 改善活動に関するトップの想いの表明

- a. 方針として文書化されている
- b. 方針とはなっていないが、想いが分かる文書が配布されている
- c. 文書はないが、口頭での想いの表明があった
- d. 文書、口頭とも明確な想いの表明はなかった

##### ② トップの想いに関する教育を行い周知したか。

- a. トップの想いを文書化した資料をもとに、全サークルメンバー対象に、教育が実施されている
- b. トップの想いを口頭で説明した。
- c. トップの想いを浸透させるために特別なことはしていない。
- d. トップの想いの表明がないため未実施である。

##### ③ あなたは今期の部・課方針を理解していますか(リーダーのみ)

- a. 理解しており、他の人に説明できる
- b. 理解している
- c. 理解不十分
- d. 知らない

※ アンケート項目は各社に応じて見直し・変更をして下さい。

## 3. アンケートの結果を評価

(1) サークルリーダーがアンケート結果を評価し、活性化レベルを判断する。

### 【手順】

- ① アンケートの合計得点を計算する
- ② 分類 a)~d) の平均点を算出し、レーダーチャートにプロットする
- ③ 合計ポイントと各軸平均ポイントの両方で最低レベルを確認する。

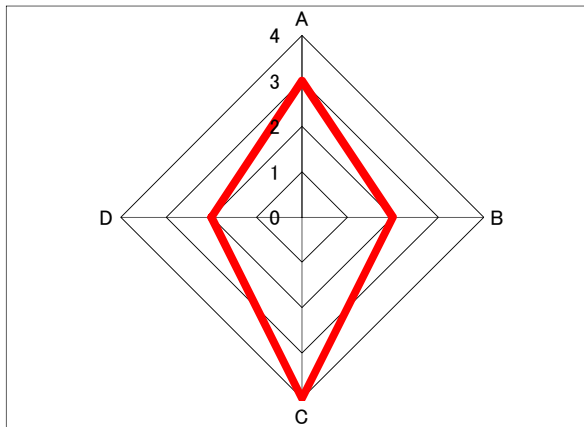
活性化レベル	合計ポイント	各軸平均ポイント
・ 活性化レベルA	81~92	4
・ 活性化レベルB	66~80	3
・ 活性化レベルC	51~65	2
・ 活性化レベルD	~50	1

### 【評価事例】

a)~d)が下記の点数の場合

- a) 上司の想いの理解 3点
- b) 主体性 2点
- c) サークルの取組み 4点
- d) サークル活動結果 2点

アンケートの合計点数 68点



合計ポイントはBだが、  
平均ポイントにCがあるため

判定結果
活性化レベルC

(2) 結果のフィードバックと活性化方策の検討をする

- ① 活性化レベル評価結果をメンバーにフィードバックし共有する  
(大分類 a)~d) の数値の結果も含め共有化)
- ② 更なる活性化レベルに向上させる為の方策をメンバーと議論をする
- ③ サークルリーダーは、アンケート結果から見えた問題点を把握し、参考事例集を使用する

- 実施頻度について
  - ・ 6ヶ月に一回を目安に実施
- 上司が実施する場合
  - ・ 同様のアンケートを実施し、上司から見たサークル活性化度を評価する  
上司とサークルとのギャップを明確にし、指導ポイントの参考にする
- 事務局での活用について
  - ・ 各サークルで実施したアンケートを基に事務局で解析を行い、全社活性化の方策に繋げる

## 4. アンケート結果の評価に基づく事例集活用

- ・ P4~P15に他社の参考事例が掲載されていますので、各サークルの改善に活用してください。

【参考事例の例】 ・ テーマの抽出に困ったときの事例

事例集	区分	アンケート設問No.	テーマ名
2	(b)主体的	(b)-①	-テーマの抽出方法事例
<b>■ 背景(問題点)</b>			
QCサークルのテーマを決めることがとても重要であるが、なかなか良いテーマを決めることができず、悩んでいる方は多いでしょう。どのようなテーマを取り上げるかによって活動が上手く行くかが決まると言ってもいいと思います。QCサークル活動の為にネタ(問題・課題)を探すのではなく、普段から問題・課題にたいする感度を高めておく必要があると思います。			
<b>■ 実施項目</b>			
(3) 上司の意見を聞きましょう。			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ メンバーと同じくらい上司もいろいろな問題を感じています。</li> <li>・ 上司もQCサークル活動で取組んでほしい問題を必ず持っていると思います。</li> </ul>			
<p>他にも、“い”付く言葉も探して見よう！ Hãy cùng tìm những từ có đuôi “i” khác</p>			
“い”の付く言葉		ポストイット問題発見ボード	

## 5. QCサークル活性化の参考事例

事例集	区分	アンケート設問No.	テーマ名
1	(a)トップの想い	(a)-①②③④⑤	・トップの想いの展開方法事例 ・トップの想いの理解度(リーダー・メンバー)事例 ・トップの想いをテーマに反映する事例

### ■ 背景(問題点)

良いサークル活動を行うには、サークルメンバーがトップの想いを理解することが大切です。トップのQCサークル活動に対する想い、目的、狙いをサークルが正しく理解しないまま活動を行い、サークルの活動がズレているケースが多く見られます。これでは成果を出すことはできません。QCサークル活動は目的ではなく、手段です。QCサークル活動に関わる全ての人の間で、トップの想いを理解し共有することが重要なポイントです。

### ■ 実施項目

#### (1) トップの想いを理解しましょう。

- ・ リーダーは推進委員(上司)からトップの想いの説明を受け、正しく理解をすること。その際、一方的に上司の話しを聞くだけではなく良く話し合いを行い、想いを共有しましょう。可能であれば、トップの想いを直接聞くことのできる場を設けて貰うことやトップの想いを書面にて配布して貰えるように上司や事務局に働きかけましょう。

※ リーダー自身が正しく理解をする。上司とのやり取りは口答だけではなく、書面でも行いましょう。

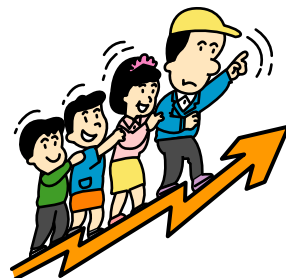
#### (2) メンバーへの展開をしましょう。

- ・ リーダーはメンバーにトップの想いを説明し、その上でサークルはどのように活動して行くのかなどをよく話し合いましょう。同じ話しを聞いても、個人の価値観、経験、立場で受け止め方は様々です。サークル内で意見交換を行い、メンバー間でのベクトルを合わせましょう。

#### (3) サークル活動でやるべきことを文字(見える化)にしましょう。

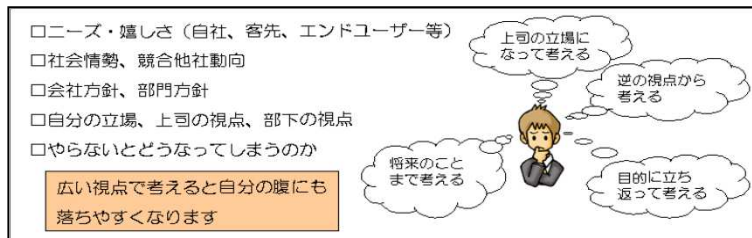
- ・ リーダーはトップの想いを理解した上で、どのようにサークル活動を行うかを文字(見える化)にして、メンバーと共有しましょう。

※ スローガンを見える場所に掲示しましょう。



#### (4) サークルの取組みテーマが、トップの想い・方針に沿っているかを考えテーマを選定しましょう。

- ・ テーマを選定するときは以下の視点で考えてみましょう。そうすると、トップの想い・方針に沿ったテーマになります。



※ テーマ選定時にメンバーの考えを上司に報告し、アドバイスを受けることが大切です。

#### (5) テーマ選定時の会合に上司を招き、参加してもらいましょう。

- ・ トップの想いを反映した問題やサークルメンバーが気づいていない問題を出して頂けます。

※ 上司の意見だけで動くのではなく、メンバーの意見をしっかり反映させることが大切です。

## 5. QCサークル活性化の参考事例

事例集	区分	アンケート設問No.	テーマ名
2	(b)主体的	(b)-①	・テーマの抽出方法事例

### ■ 背景(問題点)

QCサークルのテーマを決めることがとても重要であるが、なかなか良いテーマを決めることができずに、悩んでいる方は多いでしょう。どのようなテーマを取り上げるかによって活動が上手く行くかが決まると言ってもいいと思います。QCサークル活動の為にネタ(問題・課題)を探すのではなく、普段から問題・課題にたいする感度を高めてる必要があると思います。

### ■ 実施項目

#### (1) 日頃から困っていること・やりにくいことなどをメンバーで出し話合しましょう。

- ・ 困りごとが出てこない時は“い”の付く言葉(問題点)を探してみよう。  
例: 痛い、遠い、暗いなど

#### (2) ポストイットを活用して問題を吸い上げましょう。

- ・ いろいろな問題、意見をもっていても上手に伝えることができない人もいます。そんな時にはポストイットを使い意見を書いてもらいましょう。問題解決ボードなどを設置して、いつでも意見が出せるような仕掛けも大切です。

#### (3) 上司の意見を聞きましょう。

- ・ メンバーと同じくらい上司もいろいろな問題を感じています。上司もQCサークル活動で取組んでほしい問題を必ず持っていると思います。

問題点を表す“い”の付く言葉を探して見よう！

あなたの職場に“い”の付く問題点はありませんか？

急な	遅い	熱い
痛い	固い	暑い
高い	雑い	薄い
硬い	多い	冷たい
遠い	少ない	汚い
遠い	大きい	臭い
眩しい	小さい	うるさい
暗い	重い	聞こえない
広い	速い	見えない
狭い	遅い	
_____	_____	_____
_____	_____	_____
_____	_____	_____

他にも“い”の付く言葉も探して見よう！  
Hãy cũng tìm những từ có đuôi “i” khác

“い”の付く言葉



ポストイット問題発見ボード

### 5. QCサークル活性化の参考事例

事例集	区分	アンケート設問No.	テーマ名
3	(b)主体的	(b)-② (c)-②③⑥ (d)-②	・メンバーが会合に参加したくなる事例

■ 背景(問題点)

QCサークル活動ではリーダーはメンバーの全員参加を目指して日々、活動を推進していると思います。しかし、業務が忙しい為、会合を欠席したり、QCサークル活動そのものに理解をして頂けない方も少なからずいると思います。メンバーの全員参加はリーダーの共通の悩みであります。

■ 実施項目

(1) 上司や先輩のQCサークル体験談を聞く場を作り、QCサークル活動を行うこと  
目的・重要性・メリット・うれしさを理解してもらいましょう。

- ・ QCサークル活動の目的・重要性・メリット・うれしさを説明し理解させることで、メンバーが会合に参加するようになります。

※ 上司・先輩・リーダーはQCサークル活動の目的・重要性をしっかりと理解し、熱く語れるようになることが必要です。

(2) 簡単なテーマ(できるテーマ)に取り組ませ、成功体験してもらいましょう。

- ・ 成功体験をさせることで、メンバーが自主的に会合に参加するようになります。

(3) サークルメンバーが是非やりたい・活動したいテーマを選定し推進しましょう。

- ・ サークルメンバーがやりたいことをテーマにすれば、会合に参加するようになります。

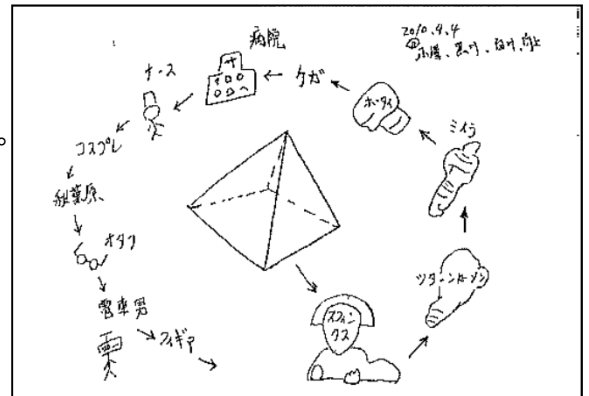
※ サークル活動活性化の基本は、テーマの選定にあるといっても過言ではなく、十分な検討が重要です。

(4) ゲームなどを活用し、楽しみながらサークル会合を開催しましょう。

- ・ ゲームを活用し楽しみながら会合を開催することで、改善意欲を高揚させ自然に会合に参加するようになります。

例:「連想ゲーム」

いろいろな考えが浮かんでくることを体験しながら、改善の原動力となる連想することの楽しさを学ぶ。連想の起点となる絵を投影し、それから連想されるものをグループで話し合いながら記入する。



(5) サークル活動終了時は、飲食店に行くのもよいでしょう(コミュニケーションを図る)。

- ・ コミュニケーションを図ることで連帯感(一体感)が生まれ、メンバーが会合に参加するようになります。



## 5. QCサークル活性化の参考事例

事例集	区分	アンケート設問No.	テーマ名
4	(b)主体的	(b)-③	・サークル会合で発言させる方法 (1)

### ■ 背景(問題点)

QCサークル会合において、意見を言うメンバーと言わないメンバーがいます。  
メンバー1人1人が、意見を言わないとサークル活動の質にも関わります。

### ■ 実施項目

#### (1) 普段のコミュニケーションを増やしましょう。

- ・ 普段全く会話がないうのにQCサークル会合でいきなり発言を求めてもなかなか発言できません。普段から、仕事以外でのコミュニケーション(挨拶、世間話など)を積極的に取りましょう。
- ・ 会話を増やすには相手を知る必要があります。相手の趣味、家族構成、住んでいるところ、職歴、好きなモノ、嫌いなモノ、生い立ち、などから共通の話題を見つけましょう。
- ・ 職場内のミーティングで普段から会話、発言をする場面を増やしましょう。  
例: "30秒スピーチ"の導入  
朝礼時に日替わりでメンバーに時間を与え、何でもいいから話をさせる(仕事以外で可)。又、他のメンバーに意見をさせる。

※ 普段から会話でき、思っていることを自由に発言できる風土作りが大切です。

※ 話しができない人に無理矢理会話を強要するのではなく、少しずつ発言を増やすことが大切です。

#### (2) メンバーと活動の内容を理解・共有しましょう。

- ・ QCサークル活動で取組んでいる内容をしっかりとメンバーで共有しましょう。活動内容を理解していなくては意見を求めても発言できません。会合の中でメンバーの理解度確認や合意をしっかりとしましょう。

※ 口頭の指示だけでは、メンバーが忘れてしまう恐れがあるため議事録を作成しましょう。

#### (3) 活動評価基準に発言率を入れましょう。

- ・ 活動評価表にメンバーの発現率を入れ、見える化することにより発言が増えます。

出席	田口 <sup>○</sup>	吉田 <sup>○</sup>	吉川 <sup>○</sup>	野田 <sup>○</sup>	川合 <sup>○</sup>	鈴木 <sup>○</sup>
	計 6/6 名					
	(出席率100%、発言率100%)					

発言した人は、名前の右上に○を打ち、発言した人が分かるようにする。

#### (4) 会合は、雑談からスタートしましょう。

- ・ 冒頭の「つかみ」としてトリビアな話をしましょう。いきなり難しい話では聞きたくないし抵抗があるので、冒頭に仕事以外でのたとえ話(つかみ)を入れることにより、気持ちをほぐしメンバーが会合へスムーズに入れます。

## 5. QCサークル活性化の参考事例

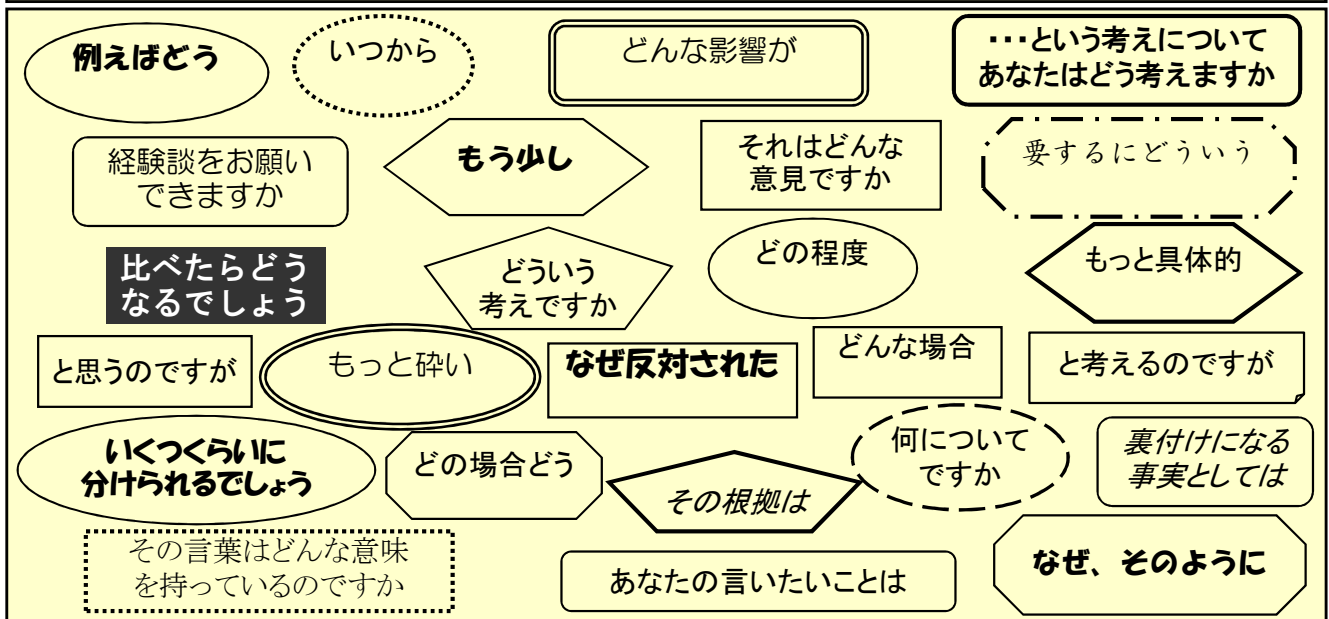
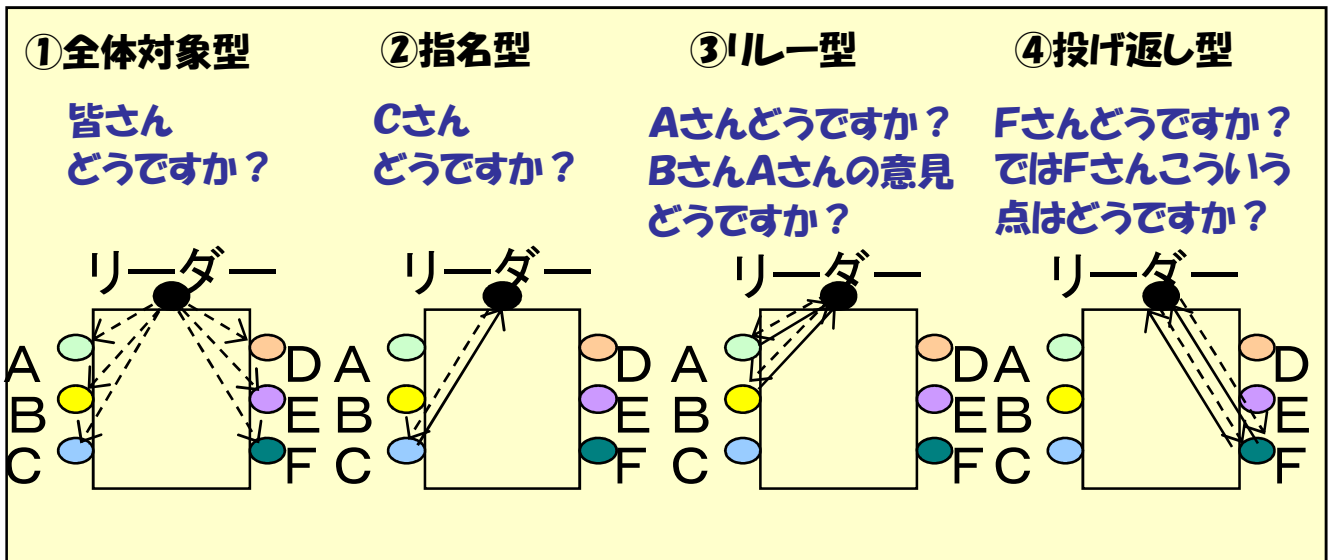
事例集	区分	アンケート設問No.	テーマ名
5	(b)主体的	(b)-③	・サークル会合で発言させる方法 (2)

### ■ 背景(問題点)

QCサークル会合において、意見を言うメンバーと言わないメンバーがいます。  
メンバー1人1人が、意見を言わないとサークル活動の質にも関わります。

### ■ 実施項目

(5) 以下のように質問・会話をしてみると意見が出やすいです。



※ リーダーが上手く回答を引き出すように工夫する必要があります。

## 5. QCサークル活性化の参考事例

事例集	区分	アンケート設問No.	テーマ名
6	(b)主体的	(b)-④ (c)-⑤	・QCサークル勉強会開催方法の事例

### ■ 背景(問題点)

QCサークルを進めると不明なことがたくさん出てくるため、QC手法の勉強会を開きたいことがある。どのようにすればよいか悩みます。

### ■ 実施項目

(1) 上司(アドバイザーやオブザーバー)や事務局に相談・依頼しよう。

- ・ 上司や事務局に依頼し勉強会を開催しましょう。

※ どんな内容の教育をしたいかを明確にし相談することが必要です。

(2) 勉強会は、グループディスカッションを多くしましょう。

- ・ グループディスカッションを増やすことにより、ワイガヤでいろんな意見が出やすく、メンバー全員で教育できます。

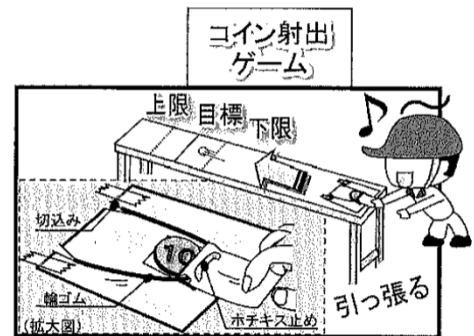
(3) ゲームなどを活用し、楽しみながら勉強会を開催しましょう。

- ・ ゲームを活用し楽しみながら勉強会をすることでQC手法の修得が容易にできます。

例: 「コイン射出装置」

装置から10円玉を飛ばし、結果をヒストグラムにし要因解析、装置の改良などで楽しくQC手法を学ぶ。

- ・ ヒストグラムで現状調査
- ・ なぜなぜ解析での要因解析
- ・ 系統図での対策立案
- ・ ヒストグラムで効果の確認



(4) QCサークル誌を活用し、QC教育をしよう。

- ・ QCサークル誌の連載に「はじめて学ぶQCストーリー」などがあり、有効に活用できます。

例: 「寸劇勉強会」

物語は、講師が読み上げるのではなく、登場人物を上司に分担して寸劇風に物語を進め、各場面を講師が解説していく。

また、QCストーリーで大切な部分では、簡単なグループ討議を入れ、受講者同士の啓発と飽き防止の工夫も取り入れる。

(5) QCサークルのビデオを活用し、QC教育をしよう。

- ・ QCサークルのビデオを活用することで、メンバーはQCサークルの進め方や考え方が容易に理解できますし、何度も不明なところを復習することができます。

## 5. QCサークル活性化の参考事例

事例集	区分	アンケート設問No.	テーマ名
7	(b)主体的	(b)-⑤ (c)-⑥	・主体的なサークル運営の事例

### ■ 背景(問題点)

QCサークル活動事例の反省ではよく「主体的な活動ではなく、やらされ感いっぱいの活動」との言葉をよく聞きます。  
 QCサークル活動が主体的に進まない理由の多くが、業務優先、上司からの指示などが上げられます。もちろん業務優先ではありますが、リーダー・メンバーが主体的に会合を行う為の協力と調整も必要です。

### ■ 実施項目

#### (1) 各会合毎に、メンバー全員で司会・書記を持ち回りで実施しましょう。

- ・ 担当を持ち回りで会合を開催することにより主体的な運営ができます。

※ 担当は、独断で決めるのではなく、メンバー全員で合意の元に決めることが重要です。  
 (押し付け感を絶対にあたえてはいけない)

	第1会合	第2会合	第3会合	第4会合	第5会合	第6会合	第7会合	第8会合
日時	1月20日	2月3日	2月17日	3月3日	3月17日	4月14日	5月19日	6月2日
司会	○さん	△さん	□さん	×さん	◇さん	○さん	△さん	□さん
書記	△さん	□さん	×さん	◇さん	○さん	△さん	□さん	×さん
	第9会合	第10会合	第11会合	第12会合	第13会合	第14会合	第15会合	第16会合
日時	6月16日	7月7日	7月21日	8月4日	9月1日	9月15日	10月6日	10月20日
司会	×さん	◇さん	○さん	△さん	□さん	○さん	△さん	□さん
書記	◇さん	○さん	△さん	□さん	○さん	△さん	□さん	×さん

#### (2) 他部署・他社のQCサークル活動を見てみましょう。

- ・ 他部署・他社のQCサークル活動を見ることで、自分たちのサークルとの違いがわかりサークル運営の参考になります。

例：QCサークル職場交流会

例：QCサークル本部・支部・愛知地区のQCサークル大会

本部	東海支部	愛知地区
① 全国大会	① 本部長賞支部選抜大会	① いきいき事例研究大会
② 全日本選抜大会	② チャンピオン大会	② 本部長賞地区選抜大会
③ 全日本選抜大会 (事務・販売・サービス)	③ 総合・交流大会	③ フレッシュ大会
		④ 職場改善飛躍成果発表大会
		⑤ 地区選抜大会 (事務・販売・サービス)
		⑥ ステップアップ大会
		⑦ 現場発表会

#### (3) 上司に報告しよう。

- ・ 会合の翌日や、活動の節目など自ら上司への報告日を決めて定期的に報告をしよう。  
 活動で困った時に上司に相談することは大切ですが、困った時だけでなく活動の進捗報告し常に上司に現状を把握して貰うことで適切なアドバイスを受けることができます。

## 5. QCサークル活性化の参考事例

事例集	区分	アンケート設問No.	テーマ名
8	(c)取組の状態	(c)-①	・発表会の運営事例(1)

### ■ 背景(問題点)

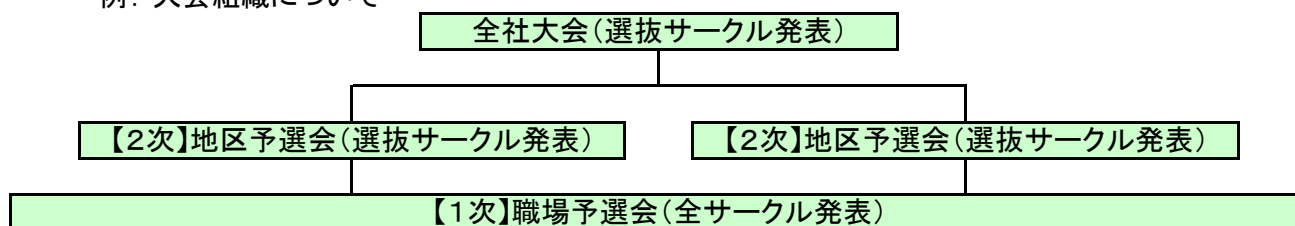
QCサークル活動テーマが完了したら必ず発表会を行いましょう。  
 活動内容を発表することにより、サークルのがんばりを上司や仲間に伝えると共に、発表者の成長の場にもなります。又、聴講者は他サークルの事例を聞くことにより気づきを得ると共に自サークルのベンチマークになり更にレベルアップにつながると思います。

### ■ 実施項目

#### (1) 予選会・大会と全サークルが発表できる大会組織にしましょう。

- ・サークルのがんばりを上司や仲間に伝えると共に発表者の成長に繋がります。  
 また、審査員にはトップ・役員にお願いし、サークル活動のアピールの場にしましょう。

例：大会組織について



- ※ 大会(報告会)のための活動にならないように注意することが重要です。
- ※ 大会の審査員には、効果金額大小で評価しないように事前をお願いしましょう。  
 (成果があまり大きくない活動=大したことのない発表という意識を植え付けない)
- ※ 審査員はまず褒める。その後、改善点を指導する形にしましょう。  
 (他サークルの参考となるような点を明確にしたような講評に心掛けてもらう)

#### (2) 賞金を出し、サークルメンバーのモチベーションを上げましょう。

- ・全社大会だけに賞金を出すのではなく、地区予選会でも賞金を出しましょう。

例：賞金について

順位	金額
・優勝	5万円
・準優勝	4万円
・3位	3万円
・優秀賞(4位～8位)	2万円
・1次予選突破	1万円

例：賞金ではなく、景品(肉・商品券等)を  
 家族へ送る会社もあります。

#### (3) 部署内発表会を開催しましょう。

- ・全社大会など発表の場がない場合は、自部署で企画し上司・仲間に聞いてもらいましょう。

- ※ 特に苦労した点、他サークルの参考となるような内容を盛り込んだ発表にしましょう。

## 5. QCサークル活性化の参考事例

事例集	区分	アンケート設問No.	テーマ名
9	(c)取組の状態	(c)-①	・発表会の運営事例(2)

### ■ 背景(問題点)

QCサークル活動テーマが完了したら必ず発表会を行いましょう。  
 活動内容を発表することにより、サークルのがんばりを上司や仲間に伝えると共に、発表者の成長の場にもなります。又、聴講者は他サークルの事例を聞くことにより、気づきを得ると共に自サークルのベンチマークになり更にレベルアップにつながると思います。

### ■ 実施項目

#### (4) 優秀事例発表会で発表しましょう。

- 社内大会で優勝した事例を集めチャンピオン大会で発表しましょう。  
 その際に、発表当時の事例をそのまま発表するのではなく新たに「活動のその後」を追加して報告して貰いましょう。以前の発表を聞いたことのない人には参考になるとともに改善の維持管理状況が分かり効果的です。



発表ときに事例



新たに維持管理状況追加

#### (5) 数年おきに大きい大会で発表しましょう。

- 外部(中品協、日科技連など)のQC大会で発表しよう。  
 発表者の経験になるとともに、他社の事例を聞くことにより自身のレベルを知ることができます。



#### (6) 上司やアドバイザーの評価結果一覧を全員が見えるところに掲示しましょう。

- 評価結果一覧を全員が見えるところに掲示することで、みんなが情報を共有できます。

サークル名(部門)	海事本部	生産本部	管理本部	営業本部	開発本部	生産技術	大口工場	旭工場	瀬戸工場	合計ポイント	平均ポイント	順位
Q&Cセブン(抜セ)	1	1	1	1	2	2	2.3	1	1	12	1.4	5
ファイト(旭)	3	2	3	2.3	3	3	3.7		5	25	3.1	3
HANSOKU(本社)	3	4	2		2	1	2.3	2.3	3.7	20	2.5	4
ラーメン(大口)	4	4	4	3.7	4	4		3.7	3.7	31	3.9	2
初心者マーク(瀬戸)	5	5	5	5	5	5	5	5		40	5	1

## 5. QCサークル活性化の参考事例

事例集	区分	アンケート設問No.	テーマ名
10	(c)取組の状態	(c)-④	・支援者から上手くアドバイスをもらう方法事例

### ■ 背景(問題点)

QCサークル活動を行っていく中で、行き詰まったり、悩んだりすると思います。そんな時は支援者に相談しましょう。しかし、お互い多忙なため都合良く相談ができない場合もありますが、定期的に支援者と話をする機会を設ける事が大切です。

### ■ 実施項目

#### (1) 会合を実施したら、すぐにQCサークル会合実施報告書を作成し、支援者のアドバイスやコメントをもらいましょう。

- ・ QCサークル会合実施報告書に支援者のアドバイスを記入する欄を設け、アドバイスをもらいましょう。

※ 会合実施報告書は、直接アドバイザー・上司に持っていきとよいです。また、いつまでに記入して欲しいかを明確に伝えることが必要です。

※ 会合実施内容を詳しく記載すると、アドバイスも明確になるため詳細に記入することが必要です。必ず毎回提出することで、サークルの真剣差が伝わり、しっかり書いてくれるようになります。

QCサークル会合実施報告書				
サークル名 第 会合	室・課長	アドバイザー	リーダー	書記
日時	年 月 日 時 分 ~ 時 分			
場所				
出席 メンバー	工数 H × 人 = H			
活動テーマ				
会合内容	会合テーマ :			
アドバイザー 指導内容				
室・課長 指導内容				

#### (2) 活動が見える化しましょう。

- ・ 上司からアドバイスをもらうにも活動内容がわからないとアドバイスは貰えません。職場にQCサークル活動ボードなどを設置し活動の進捗が見えるようにしましょう。

忙しい上司の活動報告時間を取るのは大変です。上司の空いた時間に見てもらいコメントを残してもらうなど工夫するとよいでしょう。



#### (3) 上司が改善してほしいテーマを取組み内容にしましょう。

- ・ 上司もQCサークル活動で取組んでほしい問題を必ず持っていると思います。その問題をテーマに取上げることで、上司からの支援・アドバイスがスムーズになります。

## 5. QCサークル活性化の参考事例

事例集	区分	アンケート設問No.	テーマ名
11	(d)活動の結果	(d)-①③	・目標(効果金額等)を達成するための事例

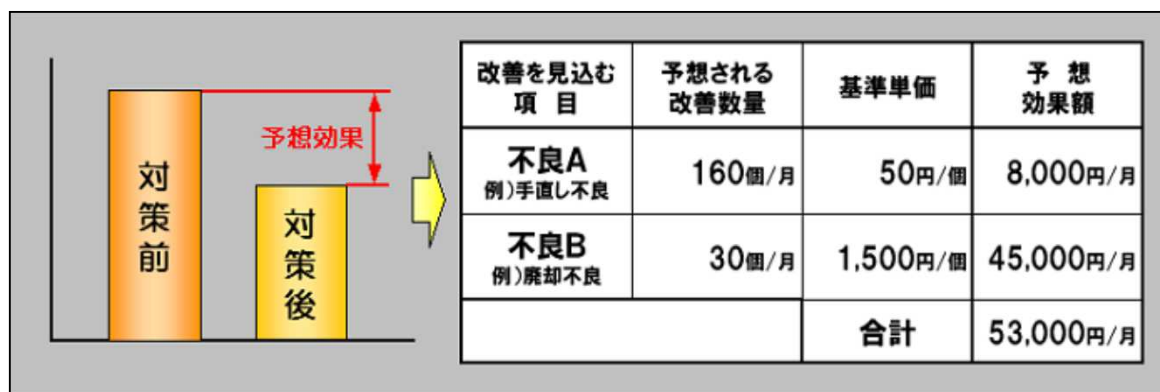
### ■ 背景(問題点)

QCサークル活動は、自分たちで目標を立て、自分たちで目標を達成したか評価します。そのため目標を達成することは、自分たちで決めた活動が支障なくできたかの評価と同じであり、とても重要です。また目標を達成しないと達成感がなく、今後の活動のモチベーションに影響します。

### ■ 実施項目

#### (1) 目標は「いつまでに、どれだけ」がわかる具体的な数値で設定しましょう。

- ・ 目標は効果金額が一番分かりやすいですが、それ以外でもOKです。ただし、どんな効果でも金額に換算可能です。必ず効果金額を算出しましょう。



#### (2) 目標の難易度は適切か？自サークルのレベルをきちんと把握しましょう。

- ・ 自分たちで決めた目標が適切か？下記指標を元にメンバーで話しあい、修正が必要な場合は修正し、目標達成に向けた活動をしましょう。

目標難易度	注意点
低	簡単に達成でき、身が入らない
やや低	初心者はこのあたりから徐々に高くする
挑戦的	○
高すぎる	あきらめてしまう

※ 不測の事態が起きた場合は目標を見直すことが重要です(達成できないから見直すのはNG)。

#### (3) 事務局・上司を巻き込んで活動をしましょう。

- ・ 事務局や上司を巻き込むことで容易にアドバイスをもらうなど、スムーズな活動ができるようになり目標達成が近づきます。

※ 普段から事務局や上司とコミュニケーションを図っておくことが重要です。

もし達成できなかった場合、再度同じテーマでサークル活動を行い問題点を認識しましょう。達成できるまで活動することが望ましい姿です。



## 5. QCサークル活性化の参考事例

事例集	区分	アンケート設問No.	テーマ名
12	(d)活動の結果	(d)-④	・確実に標準化させるための事例

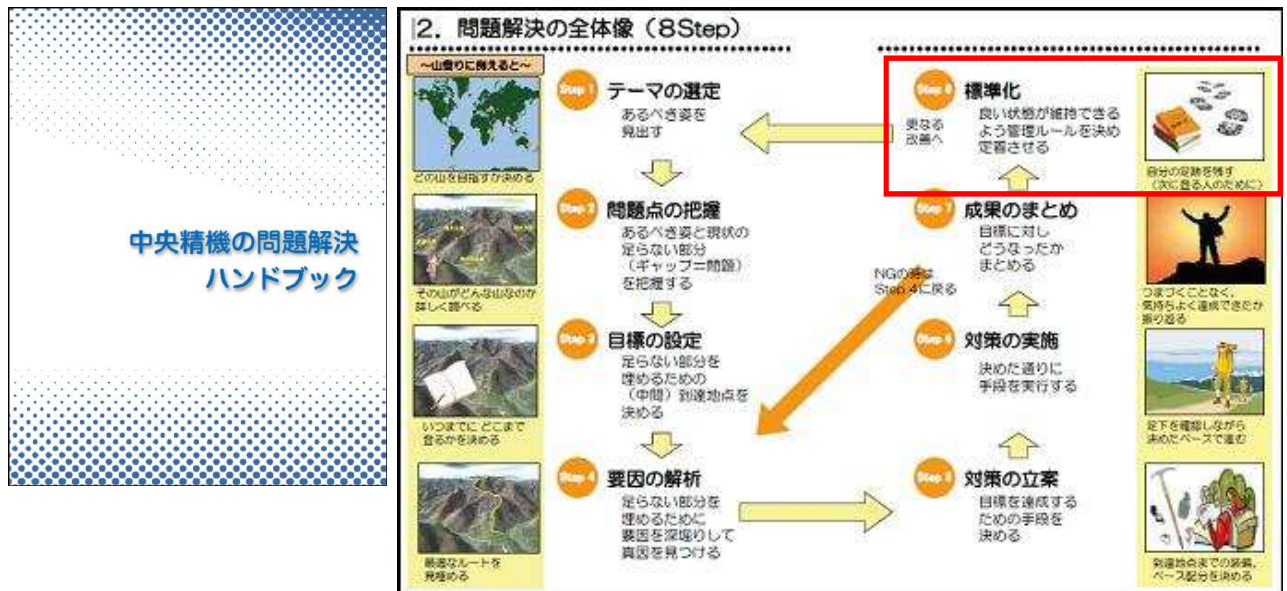
### ■ 背景(問題点)

QCサークル活動で行ったことは確実に標準化を行い、日常業務で継続してしていかななくてはなりません。せっかくの良い改善も最後の標準化を怠った為、改善内容が根付かず後戻りしてしまう例が沢山あります。

### ■ 実施項目

(1) ハンドブックを作成し標準化をどのような考えで実施するかを明確にしましょう。

- 問題解決のハンドブックを作成し、標準化が抜けないように工夫しましょう。  
例:「問題解決ハンドブック」

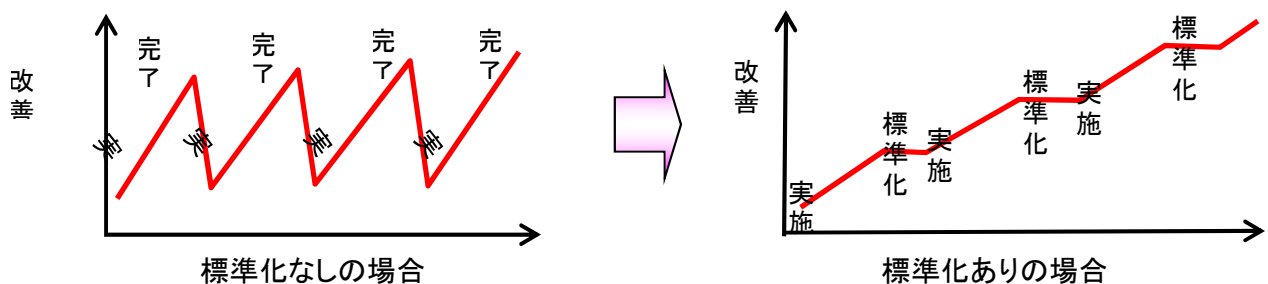


※ 標準を決める際にはメンバー全員の合意(納得)をし、自分達で決めたルールを守る風土が大切です。

※ 決めたルールは必ず書面に残し、なぜこのようなルールを決めたかの理由も記載することが重要です。

(2) 標準化したルールは遵守チェックを行います。

- 新しい標準ルールは期間を決め、遵守チェック(1週間後、2週間後、1か月後など)を行い実施状況が外から見える様にすることも継続する方法の一つです。



## 6. おわりに

第2期中部品品質管理推進研究会/QCサークル活性化WGでは、2年にわたる活動で「活性化手引書」を作成しました。

QCサークル活動が発足してから半世紀近くが立ち、会社と個人に対して大きな役割を果たしました。しかし、近年では「マンネリ化」、「やらされ感」などが事務局の悩みになっています。

打開策を模索していますが上手くいかないところもあります。

我々が考えるQCサークル活動の目的は、職場から「しょうがない」「できない」「問題ない」という現状に満足している人材を無くし改善・改革を絶えず考える気持ち、改善マインドを持った人材を育成することです。本ガイドブックは、サークルリーダー向けに作成してありますが、上司・事務局の方など、QCサークル活動にかかわるすべての人に活用して頂ければと思います。

本件は中部品質管理協会 品質推進研究会での研究成果物です。各社での実施に合わない部分は各社での実態に合うようにアレンジをして使用して下さい。

途中、メンバーの退会などがあって、先行きが見えないことも一時は考えましたが、メンバーの皆さんは「自社のQCサークル活動を良くしたい」という共通の熱い想いが活動の言動力にもなりました。「活性化手引書」を作成するにあたり、中部品質管理協会の岩本様、加藤様、古谷様には研究会活動のアドバイスを頂き深く感謝します。

中部品質管理推進研究会  
QCサークル活性化WG一同

愛知電機株式会社	平出 篤彦
大橋鉄工株式会社	西出 勝
株式会社フジインコーポレーテッド	伊藤 力也
中央精機株式会社	大竹 修一郎
リンナイ株式会社	鈴木 甲史

# QCサークル活動に関するアンケート

このアンケートは、QCサークル活動を活発化させるためには、どのようなことが今後必要となるかを検討するためのヒントを得る目的で、皆様にご回答をお願いするものです。アンケート実施の趣旨をご理解いただき、何卒ご協力方お願い申し上げます。

## <アンケート記入上の留意事項>

1. **全ての質問にご回答をお願いします。**なお、質問は、サークルリーダー向けの質問(a)から(d)までの**全18問**と、サークルメンバー向けの**質問3問**に分かれております(最後の3問がサークルメンバー向けですが、リーダーの方もご回答ください。)
2. メンバーの方に対しては、極力全員の方に回答をしていただくようご配慮お願いいたします。またご面倒でも、回答に当たっては、複数の方が同じ回答用紙に記入することがないようにお願いいたします。
3. このアンケートは匿名で行います。ご回答に当たっては、**現実に近いとお考えのものを一つ選んで**回答欄にマル「○」をお付けください。

QCサークルメンバー数:                      名

## サークルリーダーへの質問

	a	b	c	d
現在実施しているテーマに一番近いと考えるテーマの目的 a. 生産性向上 b. 品質向上 c. 人材育成 d. その他				

(裏面に続きます)

## サークルリーダーへの質問

(a) 部署長・工場長の想いを理解	4	3	2	1
① 改善活動に関するトップの想いの表明 4. 方針として文書化されている 3. 方針とはなっていないが、想いが分かる文書が配布されている 2. 文書はないが、口頭での想いの表明があった 1. 文書、口頭とも明確な想いの表明はなかった				
② あなたは今期の部・課方針を理解していますか(リーダのみ) 4.理解しており、他の人に説明できる 3.理解している 2.理解不十分 1.知らない				
③ トップの想いの理解度(メンバーにも聞く) 4. 大半のメンバーがトップの想いを理解し、活動している 3. 半数程度のメンバーがトップの想いを理解し、活動している 2. ほとんどのメンバーがトップの想いを理解してはいない 1. トップの想いが表明されていない。				
④ テーマ選定へのトップの想いの反映 4. トップの想いに確実に沿ったテーマを選定している 3. トップの想いを考慮してテーマを選定している 2. トップの想いを考慮してテーマを選定しているとはいえない 1. まったく考慮していない				
(b) 主体的	4	3	2	1
① テーマのネタ a. テーマ選定時には5個以上の候補が出る b. テーマ選定時には3個以上の候補が出る。 c. テーマ選定時には1個の候補は出る。 d. テーマのネタがなく、テーマ選定き困ることが多い。				
② 会合参加 4. 会合にはメンバー全員が主体的に参加する。 3. 会合には8割以上のメンバーが主体的に参加する。 2. 会合には5割以上のメンバーが主体的に参加する。 1. 個別に参加要請をしなければなかなかメンバーが集まらない。				
③ 発言率 4. 会合ではメンバーの8割以上が主体的に発言している。 3. 会合ではメンバーの5割以上が主体的に発言している。 2. 会合ではメンバーの3割以上が主体的に発言している。 1. 会合ではメンバーの3割未満が発言している。				
④ 教育の受講 4. QCの手法に関する勉強会を活動として設けている。 3. 新入社員等QC手法に関して詳しくないメンバーには個別に勉強の機会を設けている。 2. QCの手法の解説を交えながら会合を運営している。 1. QCの手法に関して意識してサークル運営はしていない。				
⑤ 自主的にQCサークル運営を行っていますか 4.サークル運営についてはメンバー全員でよく話し合い決めて行っている 3.サークル運営については一部のメンバーで話し合い決めて行っている 2.サークル運営についてはリーダーに任せっきりである 1.アドバイザーの指示に従い活動をしている				

(裏面に続きます)

(c) 取組みの状態

	4	3	2	1
<b>① 発表会(発表会を行っている会社のみ)</b> 4. 発表会に選ばれ優勝したい。 3. 発表会に選ばれ入賞したい。 2. 発表会には選ばれたいが入賞したくない。 1. できれば発表会に選ばれたくない。				
<b>② 会合回数(社内基準を3とする)</b> 4. 毎月〇回以上は開催している。 3. 毎月〇回は開催している。 2. 不定期である。 1. ここ数ヶ月開催したことはない。				
<b>③ 1回の会合当たりの時間(社内基準を3とする)</b> 4. 〇時間以上 3. 〇時間～〇時間未満 2. 〇分～〇時間未満 1. 〇分未満				
<b>④ 上司・支援者・アドバイザー等の助言指導</b> 4. かならず活動に対して助言、指導をくれる。 3. 必要に応じて時々助言、指導をくれる。 2. 助言、指導を求めればくれる。 1. 助言、指導はない。				
<b>⑤ 活動計画遵守はできていますか</b> 4. 活動計画は遵守できている 3. 計画に遅れが生じた場合は、メンバーで話し合い挽回計画を立案している 2. 計画に遅れが生じた場合の挽回計画を立案していない 1. スケジュール管理はほとんどできていない				
<b>(d)最新の活動の結果</b>	4	3	2	1
<b>① 目標は達成しましたか</b> 4. 100%達成している。 3. 8割以上は達成している。 2. 5割以上は達成している。 1. 3割以上は達成している。				
<b>② 達成感</b> 4. メンバー全員が達成感を持っている。 3. メンバーの8割以上が達成感を持っている。 2. メンバーの5割以上が達成感を持っている。 1. メンバーの3割以上が達成感を持っている。				
<b>③ 効果金額</b> 4. 年間〇万円以上 3. 年間〇万円～〇万円未満 2. 年間〇万円～〇万円未満 1. 年間〇万円未満				
<b>④ 標準化</b> 4. 活動成果は必ず標準化している。 3. 必要に応じて標準化してる。 2. 標準化はしていないが、関係者には周知徹底を図っている。 1. 何もしていない。				

(裏面に続きます)

## メンバーへの質問

	4	3	2	1
<b>① QCサークル活動は楽しく行っていますか</b> 4. 楽しく活動ができている 3. 楽しくはないが活動は必要だと思い行っている 2. 楽しくはないが活動は仕事と思い行っている 1. 楽しくなく止めていいなら止めたいと思う				
<b>② QCサークル活動で自身の成長を感じていますか</b> 4. 自身とメンバーの成長も感じている 3. 自身の成長を実感している 2. 自身の成長を少し感じる 1. 感じていない				
<b>③ 役割分担</b> 4. 自分から積極的に役割分担を買っている。 3. 与えられた役割は確実にやっている。 2. 仕方なく役割を行っている。 1. 役割を果たしていない。				

ご協力有難うございました